

令和4年度 事業報告について

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

日本旅館協会は、旅館ホテル業の健全な発展を図り、もって観光立国の実現、地域経済の発展、国民の健康増進に寄与することを目的としており、課題に対処するために各種委員会を設置し、会員がメリットを享受できるよう検討を進めた。

また、新型コロナウイルス対策本部を設置し、会員に向け必要な情報提供を行った。

1. 会議

(1) 総会

令和4年度 通常総会

日 時：令和4年6月9日（木）

場 所：ホテル インターコンチネンタル 東京ベイ

議 事：第1号議案 令和3年度 事業報告及び決算報告について
第2号議案 令和4年度 事業計画（案）及び予算（案）について
第3号議案 相談役の委嘱について
第4号議案 本部役員選任のための選考委員会の設置について
第5号議案 理事及び監事の選任について

(2) 理事会

第1回 理事会

日 時：令和4年6月9日（木）

場 所：ホテル インターコンチネンタル 東京ベイ

議 事：第1号議案 総会提出議案について
第2号議案 日本旅館協会 顧問の委嘱について

第2回 理事会

日 時：令和4年6月9日（木）

場 所：ホテル インターコンチネンタル 東京ベイ

議 事：第1号議案 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選任について

第3回 理事会

日 時：令和4年11月7日（月）

場 所：砂防会館

報告事項：委員会報告、事務局報告、新型コロナウイルス対策本部活動報告
旅館業法改正についての報告
宿泊施設における新型コロナ対応ガイドラインの改定について

第4回 理事会

日 時：令和5年3月24日（金）
場 所：都道府県会館
議 事：第1号議案 令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について
報告事項：委員会報告
 コンプライアンス アンケート調査について
 宿泊業界における観光と金融に関する全国懇談会の開催について

(3) 正副会長会

第1回 正副会長会

日 時：令和4年4月26日（火）
場 所：日本旅館協会 本部事務局
議 事：第1号議案 令和3年度決算報告について
 第2号議案 令和4年度 事業計画（案）及び予算（案）について
 第3号議案 指定代理者の選任について

第2回 正副会長会

日 時：令和4年6月9日（木）
場 所：ホテル インターコンチネンタル 東京ベイ
議 事：第1号議案 総会提出議案について
 第2号議案 日本旅館協会顧問の候補者について
 第3号議案 選考委員会委員長の選出について
 第4号議案 指定代理者の選任について

第3回 正副会長会

日 時：令和4年6月27日（月）
場 所：オンライン会議
議 事：第1号議案 会長代理の指定について
 第2号議案 正副会長会の代理出席の可否について
 第3号議案 正副会長会議事録の展開について
 第4号議案 当面の取り組み事項について
 第5号議案 令和4年度委員会等の構成について
 第6号議案 支部提出議題の対応について
 第7号議案 旅館ホテル政経懇話会について

第4回 正副会長会

日 時：令和4年8月31日（水）
場 所：日本旅館協会 本部事務局
議 事：第1号議案 令和5年度税制改正要望について

- 第2号議案 長期休業に伴う会費の免除申請について
- 第3号議案 災害見舞金の申請について
- 第4号議案 協賛事業者の新規加入について
- 第5号議案 オフィシャルバイヤー事前アポイント商談会参加について
- 第6号議案 雇調金の研修等教育訓練にかかる要望について
- 第7号議案 丸紅株式会社からのふるさと納税にかかる事業提案

第5回 正副会長会

- 日 時：令和4年9月21日（水）
- 場 所：日本旅館協会 本部事務局
- 議 事：第1号議案 指定代理者の選任について
- 第2号議案 営業状況等統計調査について
- 第3号議案 災害見舞金の申請について

第6回 正副会長会

- 日 時：令和4年11月7日（月）
- 場 所：日本旅館協会 本部事務局
- 議 事：第1号議案 長期休業に伴う会費の免除申請について
- 第2号議案 災害見舞金の申請について
- 第3号議案 協賛事業者の新規加入について

第7回 正副会長会

- 日 時：令和5年1月31日（火）
- 場 所：日本旅館協会 本部事務局
- 議 事：第1号議案 令和5年度 事業計画（案）及び予算（案）について
- 第2号議案 令和4年度支部連合会への配賦について
- 第3号議案 長期休業に伴う会費の免除申請について
- 第4号議案 災害見舞金の申請について
- 第5号議案 指定代理者の選任について
- 第6号議案 コンプライアンス取り組みの手引き改定について
- 第7号議案 政経懇話会パーティー券の購入について
- 第8号議案 中部支部連合会提出議題案 ファンドの活用について

第8回 正副会長会

- 日 時：令和5年3月24日（金）
- 場 所：日本旅館協会 本部事務局
- 議 事：第1号議案 第4回理事会提出資料について
- 第2号議案 長期休業に伴う会費の免除申請について
- 第3号議案 令和6年度の本部総会開催日について

(4) 新型コロナウイルス対策本部

第1回 新型コロナウイルス対策本部

日 時：令和4年6月17日（金）

場 所：観光庁

議 事：全国を対象とした地域観光事業支援の実施について

第2回 新型コロナウイルス対策本部

日 時：令和4年8月19日（金）

場 所：日本旅館協会 本部事務局

議 事：金融懇談会に向けた対策について

全国旅行支援の早期再開と予算の確保への対策について

雇用調整助成金、その他補助金への対策について

第3回 新型コロナウイルス対策本部

日 時：令和5年1月18日（水）

場 所：日本旅館協会 本部事務局

議 事：金融懇談会に向けた対策について

第4回 新型コロナウイルス対策本部

日 時：令和5年2月10日（金）

場 所：日本旅館協会 本部事務局

議 事：金融懇談会に向けた対策について

(5) 金融懇談会

第1回 金融懇談会

宿泊業界としての懸案事項をまとめ、重層的な金融支援や資本金劣後ローンのさらなる活用について、関係機関と意見交換をした。

日 時：令和4年8月31日（水）

場 所：参議院議員会館

要望事項：融資制度について（金融庁）

個別融資案件について（政府系金融機関）

信用保証制度について（中小企業庁）

業界支援制度等について（観光庁）

第2回 金融懇談会

コロナ禍において宿泊事業者は多大な負債を抱え、赤字決算が続いている。インバウンド回復後、負債返済等を含めた金融対策の進め方が大きな課題となっている。アンケート集約による財務状況をエビデンスとして提示し、具体的な金融政策に繋げることを目的とする金融懇談会を開催した。

日 時：令和5年2月24日（金）
場 所：都道府県会館
要望事項：融資制度について（金融庁）
個別融資案件について（政府系金融機関）
信用保証制度について（中小企業庁）

2. 委員会の開催

(1) 政策委員会

令和4年度は委員会を6回開催した。

○第1回 令和4年4月11日（月）

- ・2年間の取り組み内容を振り返り、次期委員会への申し送り事項について確認した。
- ・ふくしまHACCPの改善点を確認し、リリース時期に合わせて会報誌「日本の宿」等に掲載して会員に周知することとなった。

○第2回 令和4年7月26日（火）

- ・会員調書の内容に関して、より簡素化させる方向で再度検討することとなった。従業員数等の変動する項目は調書から除き、Web上のアンケートシステムを活用しながら情報収集を行うこととなった。
- ・業界内のFAX廃止に向けて、電子署名やSNSの活用方法を議論しながら進めていくこととなった。
- ・協会が実施する調査の完全匿名化および回答率アップのための手法を検討していくこととなった。

○第3回 令和4年9月22日（木）

- ・アンケート調査への回答率を上げることを委員会の最大の課題とし、問題点について議論した。アンケートの定着化を図るために、Web上で簡単に回答できるシステムを活用することとなった。依頼方法についても併せて議論した。

○第4回 令和4年11月25日（金）

- ・Web上のアンケートツール「クエスタント」を有効活用しながら調査への回答数アップを目指すこととなった。さらに協会のホームページ上に実施中のアンケートや調査結果を掲載し、会員施設や報道各社に対して共有、発表できるような仕組みを作ることとなった。
- ・会員への情報発信において、SNS活用の前段階としてまずはメールアドレスの収集が必須であるとし、各支部連合会にも協力要請しながら進めていくこととなった。

○第5回 令和5年1月23日（月）

- ・ PMS（プロパティ・マネジメント・システム）からのデータ抽出についてPMSを提供する会社との意見交換を行い、委員会が望むシステム構築が可能かどうか、運用開始後の課題、ランニングコスト等について説明された。連携するPMSを検討し、実装に向けて事業を進めていくこととなった。
- ・ 電気料金の高騰について研究するため、会員施設へのアンケート調査を実施することとなった。地域や施設規模により基本料金の表記が異なるため、設問を「請求年月日」「総使用量」「金額」の3項目に絞り、電力会社ごとの推移を見ながら結果を共有することとなった。

○第6回 令和5年3月2日（木）

- ・ コンプライアンス遵守の啓蒙活動を強化するために、さまざまな事案に関するアンケート調査の実施やポスターの作成について検討することとなった。
- ・ 協賛事業者である株式会社JTBコミュニケーションデザインを交え、電気料金高騰の状況や市場の今後の見通しについて意見交換を行った。4月に再値上げすることを見込んで、電気料金に関するアンケート調査を継続して行うこととなった。

(2) EC戦略・デジタル化推進委員会

令和4年度は委員会を4回開催した。

○第1回 令和4年7月29日（金）

委員会の前身であるEC戦略・キャッシュレス委員会での活動を振り返り、以下の内容について引き続き検討していくことが決定した。

- ・ 在庫共有化について（観光庁との合同勉強会を開催）
- ・ オンライングループブッキングシステムの開発
- ・ スマートトラベル（低廉な手数料でのカード決済）
- ・ GoToトラベル関連事業

○第2回 令和4年10月11日（火）

- ・ 全国旅行支援のスタートを受け、実施期間や高付加価値化補助金の拡充について、全旅連青年部と協力しながら陳情活動と情報収集を行うこととなった。
- ・ 全国旅行支援の開始に伴って、オンライングループブッキングは運用テストを一時停止し、引き続き稼働への準備を進めていくこととなった。
- ・ ふるさと納税を活用した割引直販の制度について調査・研究を開始することとなった。

○第3回 令和4年12月22日（木）

- ・ オンライングループブッキングシステムに関する会員への周知内容について検討した。

- ・ふるさと納税を活用したシステムのモデルケース（案）について検討した。
- ・インターチェンジフィーが経済産業省のホームページ上に公表されたことを受け、委員長が経済産業省を訪問し適用されている標準利率との乖離を指摘したと報告された。

○第4回 令和5年2月16日（木）

- ・オンライングループブッキングの制度説明を3月24日の理事会にて行うこととなり、今後の展開について協議した。また、各支部連合会の総会でも制度説明の時間を設けるなど、会員へ周知しながら参加者を募ることとなった。
- ・ふるさと納税を活用した直販制度について、仕組みや販売方法、ノーショー対策などの検討を進めた。

(3) 労務委員会

令和4年度は委員会を5回開催した。

○第1回 令和4年8月18日（木）

- ・「外国人材の受け入れ強化」と「調理師不足解消に繋げるための制度づくり」を目標に定め、委員会として活動していくこととなった。
- ・人材不足解消に向けて、令和4年10月4日に特定技能外国人材と宿泊施設のマッチング会開催をすることとなった。

○第2回 令和4年10月3日（月）

- ・特定技能外国人材と宿泊施設のマッチング会に備え、一般社団法人宿泊業技能試験センターと共に事前準備をした。
- ・登録支援機関（ARMS株式会社）とインドの外国人材の活用について検討を行った。
- ・観光庁観光産業課を交え、海外でのマッチング会開催の重要性や、開催に伴う関係省庁との連携について議論した。

○第3回 令和4年12月16日（金）

- ・特定技能外国人材と宿泊施設のマッチング会に関する今後の課題を共有した。
- ・登録支援機関（株式会社ヒト・コミュニケーションズ）を交え、留学制度を利用している学生やインターンシップで来日している外国人の特定技能測定試験の受験者数を増やすための手法に関する意見交換を行った。
- ・送り出し機関（Divine Mercy Academy Center）にスリランカの人材の特色を伺い、今後の展望について検討した。

○第4回 令和4年1月6日（金）

- ・宿泊分野における特定技能外国人の活用について、海外試験の受験者数を増やすためには、現地の政府や大使館との関係構築や渡航費の問題など、任意団体だけでは対処

できない課題が多く、観光庁と連携した取り組みが必要である。また宿泊施設と外国人材のマッチングをさらに進めるためには、特定技能測定試験の開催における体制が整っている国で集中的に進める方が得策であると改めて認識した。

○第5回 令和5年3月6日（月）

- ・登録支援機関（一般財団法人日本礼儀作法協会）を交え、ベトナムの人材について検討を行った。
- ・海外での試験開催国の新たな選定について、一般社団法人宿泊業技能試験センターと協議した。
- ・東京YMCA国際ホテル専門学校を訪問し意見交換を行った。特定技能測定試験の受験促進にご協力下さるとのことで、今後も連携していくこととなった。
- ・外国人材を前向きに採用することでインバウンドに対する柔軟な対応が可能になり、顧客満足やリピーター客にも繋がる。このようなメリットを伝え、特定技能人材の活用を広げていくために各支部連合会総会で特定技能人材セミナーを行うこととなった。

(4) 未来ビジョン委員会

令和4年度は委員会を6回開催した。

○第1回 令和4年7月27日（水）

- ・前労務・生産性向上委員会を「労務委員会」と「未来ビジョン委員会」に分けて活動していくこととなった。当委員会では、観光産業の地位の低下や業界の脆弱さが露見している状況から脱し、宿泊業を夢のある業界にするべく、生産性向上を目的とした労務環境の改善や将来を見据えたサステナブルな観光におけるモデル化を目指して活動していくこととなった。

○第2回 令和4年9月13日（火）

- ・働きがいや働きやすさとは何か、また宿泊業の社会的地位を向上させるためには何をすべきかについて、2グループに分かれワークショップ形式で議論した。その結果、社員や学生は、仕事で達成感を得ることにより働きがいを感じ、さらに安定した職場で働くことを求めることが分かった。これに対し、経営者は給与面等の待遇をアピールするため、ここでギャップが生じてしまうことも判明した。
- ・「ビジョンを作成する」という目標に向けて、1年半後を目途に方針を固め、その後に指針を実行していく道筋を立てて活動することとなった。

○第3回 令和4年11月9日（水）

- ・「国際ホテル・レストラン・ショー 日本旅館協会 主催者セミナー」において当委員会が立案するセミナーを開催することとなった。価格理論に基づいた宿泊料金の適正価

格について取り上げ、4委員会の委員長を交えたトークセッションを行うこととなった。

○第4回 令和4年12月20日（火）

- ・「国際ホテル・レストラン・ショー 日本旅館協会 主催者セミナー」について、テーマを価格の適正化（根付けの方法／引き上げの手法／レベニューマネージメント）とし、3部構成のセミナーを行うこととなった。第2部では、株式会社船井総研デジタルに講演を依頼することとなった。

○第5回 令和5年1月10日（火）

- ・「国際ホテル・レストラン・ショー 日本旅館協会 主催者セミナー」内で発表する、価格の引き上げの成功事例および失敗事例についてのアンケート調査内容を精査した。
- ・「宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドライン」に沿って、高付加価値化経営旅館等の登録が開始される。ガイドライン内に、労働環境改善の視点の努力事項に「能力評価制度の導入」という項目がある。厚生労働省が作成したレベルごとの能力および目安年数「職業能力評価基準について_旅館業」では、宿泊業のあるべき姿に関して多くの項目を定めている。これらの項目について、今の時代にふさわしい内容になっているか等について詳しく検討していくこととなった。

○第6回 令和5年3月1日（水）～3日（金） 鹿児島研修

- ・日本国際観光学会宿泊関連研究部会、一般社団法人日本能率協会「宿泊業のスマート化」研修会との共催による鹿児島研修を実施した。「宿泊業の将来を考える」をテーマとする合同セミナーを開催した。

3. 支部連合会ごとに連合会長の判断でテーマを決めセミナーを企画した。
セミナーの開催実績は下記のとおり。

(1) 北海道支部連合会

令和5年3月9日（木） 北海道函館市

- ・アフターコロナを勝ち残る為の宿泊業の戦略

(2) 東北支部連合会

令和4年11月14日（月） 宮城県仙台市（オンライン同時開催）

- ・ホテル、旅館向け！ 最新デジタルマーケティング8つのトレンド

令和4年11月15日（火） 岩手県盛岡市（オンライン同時開催）

- ・ホテル、旅館向け！ 最新デジタルマーケティング8つのトレンド

令和4年11月16日（水） 秋田県秋田市（オンライン同時開催）

- ・ホテル、旅館向け！ 最新デジタルマーケティング8つのトレンド

(3) 北陸信越支部連合会

令和4年11月9日（水） 新潟県新潟市

- ・インボイス制度説明会
- ・DX導入推進セミナー

令和4年11月22日（火） 新潟県南魚沼郡

- ・インボイス制度説明会
- ・DX導入推進セミナー

令和4年12月5日（月） 石川県金沢市

- ・感染症対策について
- ・観光産業の基盤「宿泊業」デジタル化対応と生産性向上
- ・宿泊業界のデジタル化推進について

令和4年12月5日（月） 長野県長野市

- ・宿泊業界における人手不足対策
- ・コロナ禍における日本政策金融公庫の取組み

令和4年12月6日（火） 長野県松本市

- ・宿泊業界における人手不足対策
- ・コロナ禍における日本政策金融公庫の取組み

令和5年2月17日（金） 富山県富山市

- ・観光産業の基盤「宿泊業」デジタル化と生産性向上
- ・サイトコントローラー「らく通」について

令和5年2月21日（火） 富山県富山市

- ・宿泊施設のエコ・省エネ 研修会
- ・旅館の脱炭素、空調のエコ、食の改善

(4) 中部支部連合会

令和4年4月28日（木） 愛知県名古屋市

- ・観光の意義、インバウンドの伸長等
- ・宿泊業の現状と期待される役割、ウィズ／アフターコロナに向けて

令和4年12月6日（火） 愛知県名古屋市

- ・インバウンドの重要性和動向について
- ・観光分野の人材育成について

(5) 関西支部連合会

令和4年9月27日（火） 大阪府大阪市（オンライン同時開催）

- ・グランピングの成功事例
- ・SNSを活用した旅館ホテルへの集客方法
- ・広報初心者向けセミナー

明日から使えるプレスリリースの基本と書き方を旅館業の事例と共に教えます
令和5年2月21日（火） 大阪府大阪市

- ・外国人従業員 マナー講習会（みだしなみ、立ち振る舞い、挨拶、表情）
- ・ワークショップ

日本に来て困ったこと、良かったこと
コミュニケーションで心掛けていること
お客様から感謝されたこと
日本の生活の過ごし方、楽しみ方

令和5年3月6日（月） 大阪府大阪市

- ・LINE公式について
- ・チャットワークについて
- ・宿泊管理システム PMSについて

（6）中国支部連合会

令和5年3月27日（月） 広島県広島市

- ・宿泊施設向け外国人材雇入れについて
- ・明日から使える「写真撮影&SNS 活用テクニック」
～魅力を100%伝えるノウハウと技術について～

（7）四国支部連合会

令和5年3月16日（木） 愛媛県松山市（オンライン同時開催）

- ・外国人材雇用に際してのポイント

（8）九州支部連合会

令和4年10月6日（木） オンライン開催

- ・宿泊業における特定技能制度について

4. 各種委員会、検討会等への参画

- （1）観光立国推進協議会
- （2）ツーリズムEXPOジャパン組織委員会
- （3）国際ホテル・レストラン・ショー企画委員会
- （4）政府観光局との意見交換会
- （5）日本の宿おもてなし検定委員会
- （6）総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会 省エネルギー小委員会
工場等判断基準ワーキンググループ
- （7）国内観光促進委員会
- （8）万博を契機とした観光推進ネットワーク会議
- （9）「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産全国推進協議会

5. 機関誌「日本の宿」の発行

機関誌「日本の宿」を4回発行し、会員に対し情報提供を行った。

6. HOTERES JAPAN および FOOD EX JAPAN の共同開催

主催団体の一員として、令和5年2月7日（火）から10日（金）まで東京ビッグサイトで開催された第51回 国際ホテル・レストラン・ショーにおいて「価格の適正化（根付けの方法／引き上げの手法／レベニューマネジメント）」に関する日本旅館協会主催のセミナーを開催した。

また第48回 FOOD EX JAPANが令和5年3月7日（火）から10日（金）まで東京ビッグサイトで開催された。

7. 保険事業の実施

日本旅館協会で旅館賠償責任保険、食中毒休業補償保険（新型コロナウイルス感染症発症に伴う休業も補償）などを取り扱い、手数料収入により日本旅館協会の財政に寄与した。

8. 国等への要望

自民党の「予算・税制等に関する政策懇談会」で業界としての要望を行うとともに、自民党「観光立国調査会」「観光産業振興議員連盟」などに出席し、宿泊業界の現状と課題解決に向けた方策について意見を述べた。

また、日本旅館協会顧問に就任していただいている国会議員を中心に要望活動を実施した。

9. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス対策本部では、宿泊業界の現状を訴え、国会議員に対する陳情・要望活動を実施した。

さらなる金融支援や全国旅行支援の必要性などについて、観光庁・財務省・金融庁・中小企業庁・政府系金融機関等と意見交換を重ねた。

運転資金の確保と経営の安定化のため、融資条件の緩和等により資金調達や過重債務に苦しむ企業の救済に向けた仕組みの構築などを要望した。

コロナの影響により3年以上の赤字や債務超過を抱え、新規の設備投資資金の調達が困難となる中で、国の高付加価値化への補助金を活用できるような新たな融資制度なども要望した。

「助成金などの支援制度対策」と「集客促進・消費促進」を主な活動とし、雇用調整助成金・持続化給付金・資本金劣後ローン・特別貸付の拡充など、会員に有益な情報の発信を定期的に行った。